

担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (8) J R 東日本「JAPAN RAIL CAFE」を活用した国内農産物の海外への魅了発信について
農林中央金庫福島支店（福島県）

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	J R 東日本は、平成 28 年 12 月に訪日旅行に関する情報発信、日本に関心の高い現地人との交流促進を目的として、シンガポールに「JAPAN RAIL CAFE」を開設しました。農林中央金庫は、月 1 回、同カフェと日本各地の生産現場をインターネット中継でつなぎ、日本の農産物の魅力を発信し、訪日外国人旅行者の呼び込みを図る取組みを行っています。第 1 回目は平成 28 年 12 月に農林中央金庫福島支店の取引先(株) J R とまとランドいわきファーム（福島県いわき市）と連携し、同社のトマト等の魅力を発信しました。
2 概要	現地中継として、(株) J R とまとランドいわきファームのトマト生産施設、隣接するワンダーファーム（自然体験型テーマパーク）の直売所・レストラン等の様子をスカイプで「JAPAN RAIL CAFE」へ発信しました。 現地では、家族で自然の景観を楽しみながら、トマトの収穫体験や地元野菜を使ったメニュー、トマトを使ったジュース・ソフトクリームなどを味わうことができる体験型ファームの魅力を伝え、シンガポールの人々の日本への関心を高めました。
3 成果 (効果)	本取組みを通じ、シンガポールの人々への日本の農産物の魅力発信、日本のファン作りに貢献しました。
4 今後の予定 (課題)	J R 東日本と連携し、同 CAFE を活用した日本の農産物の魅力発信に継続的に取り組んでいく予定です。



JAPAN RAIL CAFE のイメージ

JAPAN RAIL CAFE 内観イメージ